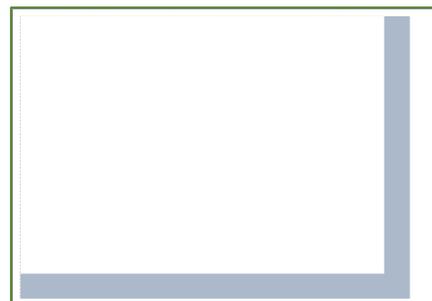
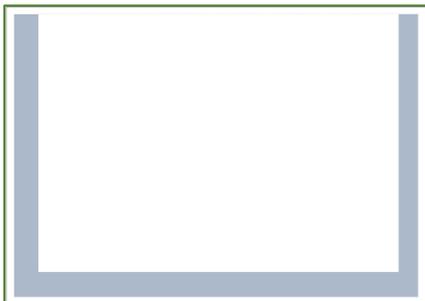
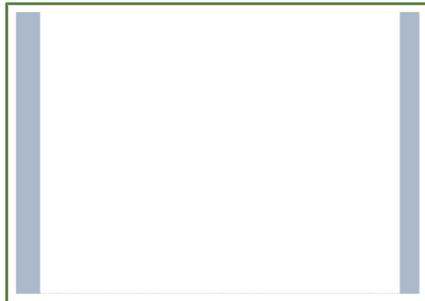


321 カラータ
—赤色のダン

ンゴムシを作ろう
ゴムシはなぜ生まれるのか—
3年Z組 北村優季



Abstract The work of the great author Dazai Osamu has spanned over sixteen years. His work can generally be classified into three periods. Each period is distinct in its literary style. In this thesis, I have compared the different stylistic features of his writing using a statistical method. I used this method to identify and elaborate on the features of each period of his collective works such as sentence length and punctuation.

My findings conclude that there are common characteristics regardless of the period which sets Dazai apart from other popular author. One example is his tendency toward long sentences commonly containing over 80 characters. We can see this feature even in his early stage, evidence that Dazai Osamu pursued this consistent expressive form, irrespective of his three terms as an author.

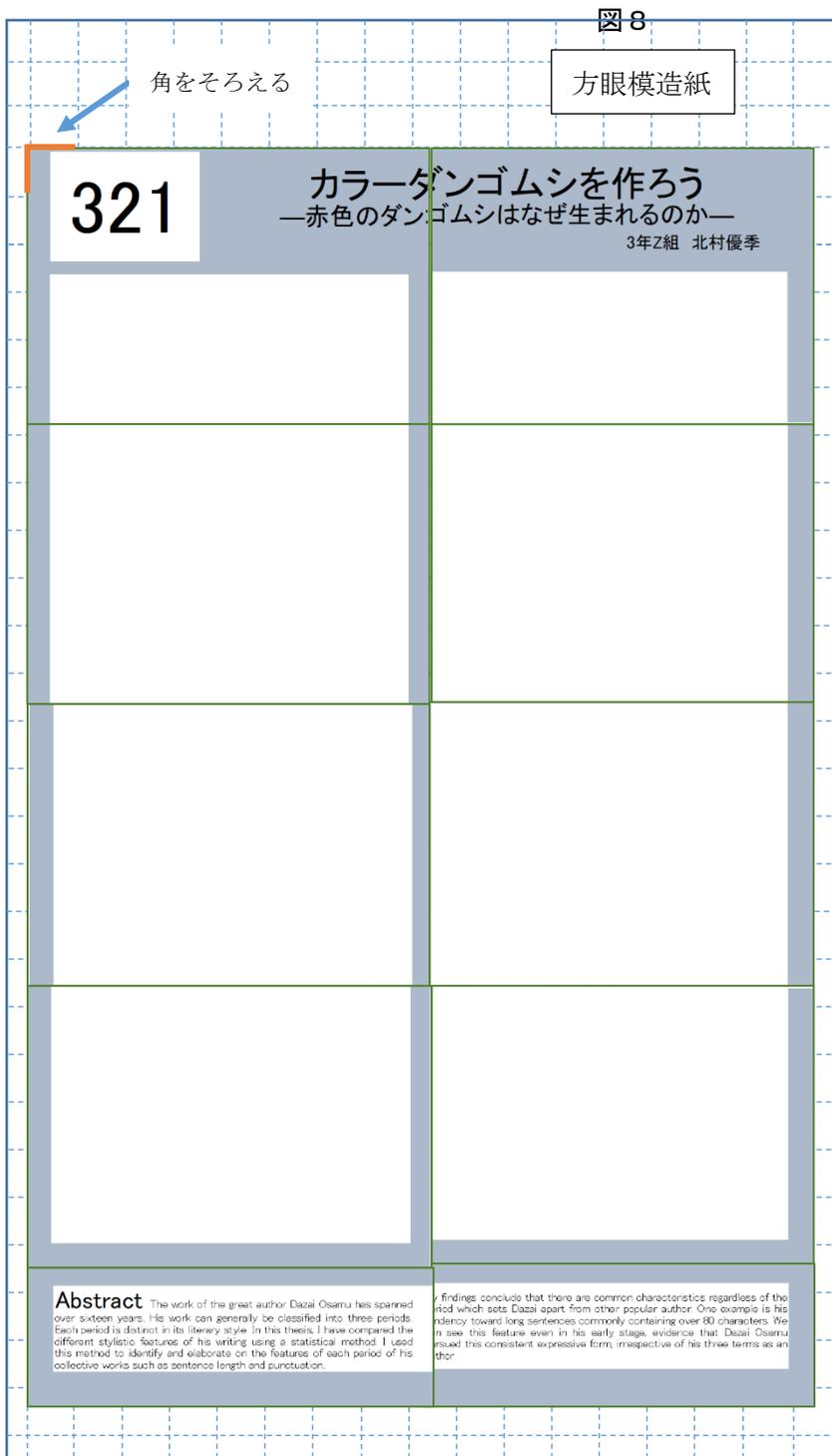


図 9

図 8 のように出力された 10 枚の紙を、切り取りの点線に沿って切り、貼り合わせると右の図 9 のようなポスターの枠ができます。それでは方眼紙の上で貼り合わせる手順を説明しましょう。

手順 1

まず広いテーブルまたは平らな床に模造紙を広げます。出来上がりのポスターが 90 cm×60 cm ぐらいですから、それより一回り大きい広さが必要です。

手順 2

次に、できれば家の外のベランダ、駐車場といった平らなところに新聞紙を広げ、その上に切り取った 10 枚のピースを裏返して並べます。学校から渡されたスプレーのり 55 をよく振って 20 cm 程度離して 10 枚のピースに吹き付けます。透明ですので、のりは見えないので一枚ずつ丁寧に吹き付けてください。

手順 3

のりを吹き付けた後、新聞紙ごと模造紙を置いた場所まで運びます。そして、図 9 のように方眼の左角を基準にして一枚一枚順番に張り付けていきます。貼り付けた後、手の平でさするように伸ばすときれいに張り付きます。失敗しても、はがしてまた貼れますので安心です。

手順 4

最後に、模造紙のはみ出した部分をハサミで切り取ってポスター枠の完成です。

プリントアウト

Introduction

背景

太宰治は、1909年に青森県下田指の大地主、金木村の津島家に生まれた。23歳のときに芝罘非法運動から転向し、1933年『魚腹記』をはじめとした小説を書き始める。

第一期 1933年から1937年で、文庫本『晩年』（新潮文庫）には『魚腹記』をはじめとする十五の小品が集まられている。この第一期は「死を意欲した遺言としての小説群」（常用国語便覧）と呼ばれている。

第二期 1938年から1945年。この間の代表作品として『走れメロス』『東京八景』など8編が収められた短編集『走れメロス』（新潮文庫）がある。この第二期は、「生命の充実を得て」「明るく透明感のある作品群を残」（常用国語便覧）した時期といわれている。

第三期 1946年からであり『人間失格』（角川文庫）と『桜桃』は太宰治最後の作品となった。この1948年に太宰は、「山崎高宗と薬物を飲んで玉川上水に身を投げ、命を絶った」（常用国語便覧）。39歳であった。

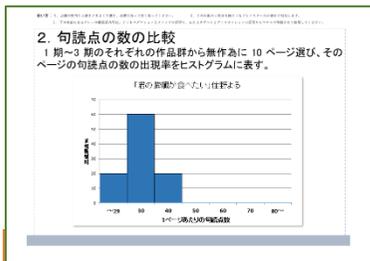
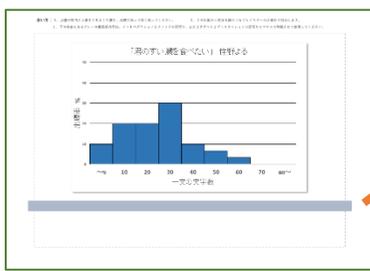
目的（疑問と予想）

太宰治が16年間の作家活動で残した一連の作品は、一般に3つの時期に分けられるといわれる。しかし、太宰治の文体もそれと同様に変化しているのだろうか。その点に疑問を持った私は、その特徴を探っていくことにした。

Method 文体の統計的な分析方法

1. 一文の長さの比較

1期～3期のそれぞれの作品群から50の文を無作為に選び、文の長さを調べヒストグラムに表す。下の例は、住野よる『君の隣を食べたい』の中から、50の文を無作為に選び、一文の長さの出現率をヒストグラムとして表したものである。



Introduction

背景

太宰治は、1909年に青森県下田指の大地主、金木村の津島家に生まれた。23歳のときに芝罘非法運動から転向し、1933年『魚腹記』をはじめとした小説を書き始める。

第一期 1933年から1937年で、文庫本『晩年』（新潮文庫）には『魚腹記』をはじめとする十五の小品が集まられている。この第一期は「死を意欲した遺言としての小説群」（常用国語便覧）と呼ばれている。

第二期 1938年から1945年。この間の代表作品として『走れメロス』『東京八景』など8編が収められた短編集『走れメロス』（新潮文庫）がある。この第二期は、「生命の充実を得て」「明るく透明感のある作品群を残」（常用国語便覧）した時期といわれている。

第三期 1946年からであり『人間失格』（角川文庫）と『桜桃』は太宰治最後の作品となった。この1948年に太宰は、「山崎高宗と薬物を飲んで玉川上水に身を投げ、命を絶った」（常用国語便覧）。39歳であった。

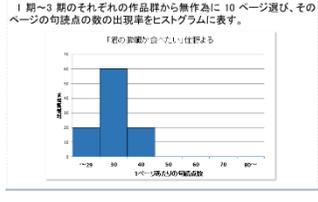
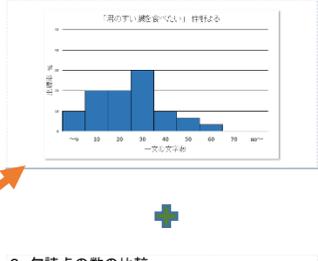
目的（疑問と予想）

太宰治が16年間の作家活動で残した一連の作品は、一般に3つの時期に分けられるといわれる。しかし、太宰治の文体もそれと同様に変化しているのだろうか。その点に疑問を持った私は、その特徴を探っていくことにした。

Method 文体の統計的な分析方法

1. 一文の長さの比較

1期～3期のそれぞれの作品群から50の文を無作為に選び、文の長さを調べヒストグラムに表す。下の例は、住野よる『君の隣を食べたい』の中から、50の文を無作為に選び、一文の長さの出現率をヒストグラムとして表したものである。



529

太宰治が16年
—統計的分析

Introduction

背景

太宰治は、1909年に青森県下田指の大地主、金木村の津島家に生まれた。23歳のときに芝罘非法運動から転向し、1933年『魚腹記』をはじめとした小説を書き始める。

第一期 1933年から1937年で、文庫本『晩年』（新潮文庫）には『魚腹記』をはじめとする十五の小品が集まられている。この第一期は「死を意欲した遺言としての小説群」（常用国語便覧）と呼ばれている。

第二期 1938年から1945年。この間の代表作品として『走れメロス』『東京八景』など8編が収められた短編集『走れメロス』（新潮文庫）がある。この第二期は、「生命の充実を得て」「明るく透明感のある作品群を残」（常用国語便覧）した時期といわれている。

第三期 1946年からであり『人間失格』（角川文庫）と『桜桃』は太宰治最後の作品となった。この1948年に太宰は、「山崎高宗と薬物を飲んで玉川上水に身を投げ、命を絶った」（常用国語便覧）。39歳であった。

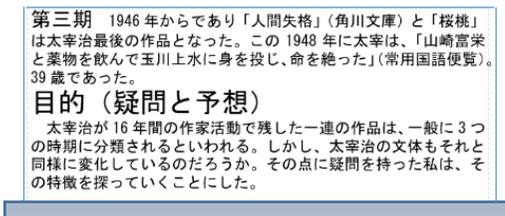
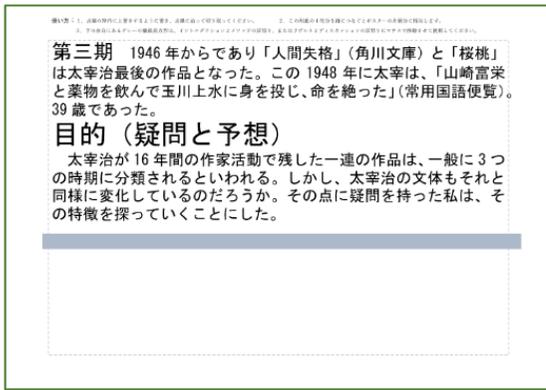
目的（疑問と予想）

太宰治が16年間の作家活動で残した一連の作品は、一般に3つの時期に分けられるといわれる。しかし、太宰治の文体もそれと同様に変化しているのだろうか。その点に疑問を持った私は、その特徴を探っていくことにした。

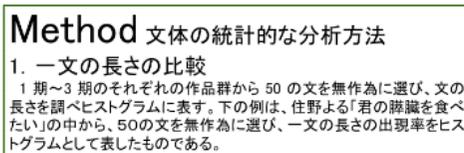
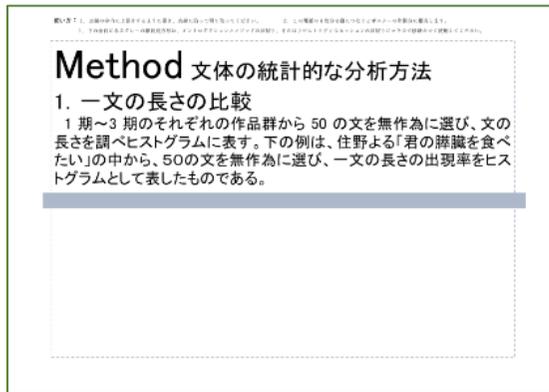
図 10

本文を作る

ポスター枠ができれば、いよいよポスターの中身を書いていきます。ひな形はポスター用文字入れひな形（左側）（右側）です。（左側）というファイルを開くと図10の左側の文書が書いてあります。この上に、上書きするように書いてください。ここで大事なことは、特に書体と大きさについてはこのまま変えないようにしてください。ポスター全体のバランスがとれるように書体と大きさがデザインされています。図10の詳しい説明を次ページで行います。



ポスターの区切りとしてバーを使う



切り取り線代わりにバーを使う

図 11

本文制作上の注意

① 全体の長さ

ポスターの左の空白に文字だけを書いていくと、A4の大きさの4枚分になります。右側も同じです。図10左を見ると5枚になっていますね。でも長さで見えていくと

$$1 + 0.6 + 0.5 + 0.8 + 0.7 = 3.8$$

と3.8枚ぐらいになっていますね。つまり4枚以内に何とか収まっています。これを目安に、全体の長さを文章や図を使って調整してください。図10で考えると矢印①を見てください。この長さの文章が4つ入ると、大体空白が埋まるということです。

② 区切りの入れ方

横に長い長方形のバーがどれにもついています。これは、2つの使い道があります。一つは、→②のように、イントロダクションとメソッドの境にバーを置く場合です。その場合は、図11のようにバーの部分ははみ出して、ハサミで切り取ると貼り付けたとききれいな区切りになります。

③ 横の切り取り線の代用

もう一つは、この長方形のバーを切り取り線代わりに使う方法です。図10の矢印③は、グラフの下を平行に切り取りたいためにバーを置いて印刷し、そこを切り取っています。

原稿ができれば「ポスター枠」にスプレーのりを使って貼り付けていきましょう。ここでも、再び剥(は)がすことができますので気楽に調整しながらやりましょう。

英文のアブストラクトも含めて完成したら、学校のポスターケースに入れてポスターセッション準備の日に持ってきてください。そのポスターは、パネルにスプレー糊で貼りますから、スプレー糊も忘れないようにしましょう。